

# SMF Press

Vol.27 Sep. 2016

あなたと  
どこでも  
アート  
おかねり  
プロジェクト

## さいたまトリエンナーレでSMFは学校をつくります!

**S**MFは、2008年の発足から埼玉県内のミュージアムや地域を表現の場とし、様々な人が、広くアートに触れ、参加できる場をつくってきました。

さいたまトリエンナーレにSMFの参加が決まった時、様々な表現方法を持つメンバーと、これまでのSMFのネットワークを活かし、わくわくするといわさを参加者の方と体験できる「学校」をつくらう!というアイデアが立ち上がりました。

それから会議の中で内容を決め、実現に向けてアイデアを出し合ってきました。その結果、今回、30組のアーティストが、約30もの企画を実施する事となりました。

これまで、多くのわくわくする「場」をつくってきたSMFならではの創造力の学校が、さいたまトリエンナーレで開校します。どうぞご参加下さい。

### 「SMF学校」のプログラムについて

SMF学校は3つの授業プログラムと部活プログラム、展示プログラムで構成されます。

#### 授業プログラム

SMF学校に参加するユニークなといわさの授業をアーティストが行うプログラム。週ごとに異なるテーマがあり、そのテーマに沿った授業が金・土・日に開催されます。

#### ・テーマ

都市計画と建築(9/25→10/7)、コラボレーション(10/8→10/29)、パフォーマンス(10/30→11/5)、都市とアート(11/6→12/1)、映像とデザイン(12/2→12/4)

#### ・曜日ごとのプログラム

##### 金曜日一みる!

##### ハナ金「とくいわさ」授業一

金曜日は、都心で仕事をしているサラリーマン・OLさんを対象にした授業プログラムを展開。

##### 土曜日一つくる!

##### 「とくいわさ」アクション一

土曜日は、生活都市さいたまをモチーフにしたワークショップやパフォーマンスなど体験型授業プログラムを展開。

##### 日曜日一かんがえる!

##### 「とくいわさ」授業一

日曜日は、アーティストの「とくいわさ」をじっくり味わい、自分なりに考えることができる授業プログラムを展開。

#### 部活プログラム

SMF学校の趣旨に合った様々なアーティストが独自のプログラムを展開。講師のアーティストとの距離感も近いのが魅力的なプログラム。

#### 展示プログラム

SMF学校の開校中、「小野養豚 食堂展」(9/24→11/6)、「たまごからから 西尾路子展」(11/10→12/11)が厨房スペースを中心に開催されます。水曜の休校日以外は10:00~18:00までいつでもご覧いただけます。(S.A)





# 草上

「おかわりプロジェクト」の「おかわり」には、再集合や再挑戦の意味が含まれています。昨年度の「衣と



体のせめぎあい」企画を皆さんは覚えていらっしゃいますでしょうか。衣装制作者とパフォーマーの共同により「食」にまつわる多彩なコスチュームとパフォーマンスを創り上げて県内各地でお披露目し、様々な人の夢が実現していく長期のプロジェクトでした。このプロジェクトを今年度「おかわり」して、衣と体のせめぎあいの参加者に呼びかけて、秋の北浦和公園を彩る「草上の昼餐」パフォーマンスを行います。衣装やアイデアを持ち寄り、コスチュームとパフォーマーの組み合わせを変えたり、同じペアで新しい衣装を仕立てたりと、昨年度とはまた一味違うものを披露します。風車輝く北浦和公園でのパフォーマンスへ、ぜひお出かけください。(K.F)

2016.10/29(土) 14:00~16:00

北浦和公園／観覧無料

同時開催：北浦和西口銀座商店街ハロウィンフェスタ2016  
(衣装タイトル／制作者／出演者 ※予定)

●たのしい食卓／江間篤子／佐々木治子 ●modestus／篠原千春／カワムラアツノリ ●PM/AM3時／國分千紘／Bobby Kobayashi ●集まって、つながって、広がる／見目由香／大澤加寿彦 ●燻製ニンニク&きのこのレシピ／中村春子／愛智伸江、他 ●petal一触と食一／福田麻衣／藤井彩加 ●おどるフルーツポンチ／タニガワ ハナコ／江積志織 ●Onion／村尾拓美／松元日奈子 ●足を食べる／SEED(野本翔平)／行田ワクワCity

## 芸術の秋、食欲の秋

OMIYAプロジェクト／TANBOプロジェクト

芸術の秋、食欲の秋ですね！えっトンカツが

好物、でしたら「空飛ぶトンちゃん大行進!」

(9/24大宮)や「小野養豚 食堂展」(9/24~11/6 SMF学校)がお勧めです。行進では、オリジナルのトンちゃんマーチやトンちゃんダンスも初公開。「鶏や卵が好き」という方は「たまご から から 西尾路子展」(11/10~12/11 SMF学校)にお越しください。キノコ好きの方は井上唯さんの「旅するキノコ in 氷川参道」(11/19~27)にお出かけください。ほんのりと光を放つ日没以降の散歩がお勧めです。氷川様がお覧です、作品は大切に守ってくださいね。11/19にはヒカルキノコを作る人気のワークショップもあります。大宮駅から氷川参道を経てさいたま新都心へ、まちの名物アートのスポットやカフェに置かれた光のオブジェを訪ねる田中清隆さんのアート散歩(9/24~12/11)、スタンプを集めて特製メッセージカードや光の作品をゲットしちゃいましょう。氷川だんごやコーヒー、ビールもおいしいですよ。大地の芸術祭でも瀬戸内芸術祭でも大人気の松本秋則さんのワークショップ(11/3)も見逃しません。不思議な音具とみんなの創造力のジャムセッションです。お申し込みはお早めに。

おかわりの基本は「何といってもご飯でしょう」というあなた、TANBOプロジェクトにもどうぞお出かけください。こちらは見沼たんぼがメインステージです。今年は伝説の巨大積みわら「フナノ」保存会の設立の年でもあり、フナノ祭り(11/12)には堂々たるフナノの勇姿がみられるはず。これにあわせて社会芸術／ユニット・ウルスのみなさんが「農はアートだ!」のコンセプトのもと、田植えや草取りから収穫までの時間を共有しながら、見沼にアートがどう寄り添えるかを試行した「もみ殻燻炭・野焼きのアースワーク」や柳井嗣雄さんの巨大藁紙の公開制作・展示などが、予定されています。11/12・13は見沼も注目のパワースポット、お忘れなく。(詳細はチラシやSMFホームページで) (M.N)



## 「花咲かアートさん」プロジェクト。一緒に枯れ木に花を咲かせましょう!



秋の北浦和公園の落葉した梢に鮮やかな「風車(かざぐるま)」の華を咲かせる「花咲かアートさん」の構想を、作者の根岸さんに最初に伺ったのは2012年の「さんなすび展」、2016年1月の「宝船展」で再度ご提案いただき、実現に向けて動くことになりました。風車を並べる、植えるかたちのインスタレーションですと、北浦和公園では1日限りになってしまいますが、木の幹の2.5m~4mくらいのやや高い場所に取り付けることで一カ月の展示が可能になります。高所作業などの難所はいくつもありますが、これでみなさんからの「風車またやってよ!」の声によりやく「おかわり」

できそうです。

考え抜かれたシステムティックな工程で造られ、美しく無限のヴァリエーションがあり、耐久性や耐水性も抜群、という根岸さんが考案した素晴らしい風車があればこそですが、監修される根岸さんのご苦勞も並大抵ではありません。春以降、既に10回以上公園に下見や実験に来られ、どの木に何本行けそうか、この木は少し下枝を払わないと、とチェックされたり、ゾーンによってテーマを持たせ空間のカラーリングを計画しインсталレーションプランを作成します。取り付け方法も試行錯誤しながら、約1500のパーツの下ごしらえ、と大忙しの夏でした。9月4日には、新潟・柏崎市から今井伸治さんが、1600個の風車をトラックに満載して美術館に到着しました。これから「風の木工房」もスタートします。アートの風を運ぶ風の木を一緒につくりましょう。ぜひご参加ください。(M.N)

2016.10/29(土)~11/27(日) 北浦和公園

### 連携美術館情報

#### 入間市博物館ALIT

アリティフェスタ2016特別展「みつけた! ふるさとのかたち」10/22~12/4

入間市にある国・県・市の指定・登録文化財76件が地域の歴史を語る!市制施行から半世紀を迎えた今、知られざる地域の歴史や魅力を掘り起こし、現在の「入間市らしさ」を形作っている原点について考えます。また、それらの文化財をどのように未来へ伝えていけるのかを探っていきます。

#### 川崎市立美術館



池田幹雄「北の回想」1985年 川崎市立美術館所蔵

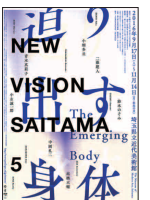
池田幹雄×滝沢具幸 —「日本画」のその先へ—  
10/22~12/4

心象風景をモチーフにシュールレアリスムに接近した池田幹雄と、人間をも含む自然を主題に抽象的な画面を構築する滝沢具幸。日本画の枠にとらわれない、先鋭的な作風で画壇を牽引してきた二人の画業を代表作でとり、変貌を続ける戦後の日本画の側面に光を当てます。

#### 埼玉県立近代美術館

NEW VISION SAITAMA 5 迫り出す身体(さいたまトリエンナーレ2016連携プロジェクト) 9/17~11/14

「ニュー・ヴィジョン・サイタマ」は、埼玉県ゆかりのアーティストに焦点をあて、今日の美術動向をリサーチする展覧会。5年ぶり5回目となる今回は、1980年代生まれの新進気鋭のアーティスト7名の作品を通して、多様化する日本の現代アートの一面面を浮かび上げさせます。(A.O)



#### 川口市立アートギャラリーATLIA

開館10周年記念事業第2弾 河口龍夫—時間の位置—  
10/8~11/26

普遍的に在るものごとを可視化することで世界を捉えなおすアーティスト：河口龍夫。地下から掘り起こされた古い木材を再利用したギャラリーの床の上に、すぐそばに居る闇・浮遊・地下を題材とした作品群を展開することで、過去・現在・未来そして水平と垂直の時間を表現します。

